

**〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕**

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□1節□4項	下水道
担当課・係名	下水道課 工務係 【問合せ・質問等の先（内線番号）			332番】

<b>業務の名称</b>	管渠整備事業																																														
(1) 根拠法令・条例	下水道法																																														
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>70</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>847</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)																																														
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>394,738</u> 千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))																																														
(4) 補助率(補助金がある 場合のみ記載)	<u>50.0</u> % (平成19年度実績)																																														
(5) 業務期間	開始した年度	平成3年度	終了(予定)年度	平成27年度																																											
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)																																															
①業務目的(達成目標)	快適な生活環境をつくること																																														
②業務が対象とする住民(地域、層)	公共下水道計画区域(市街化区域及び周辺市街化調整区域)の住民																																														
③業務の具体的な実施内容・方法(平成19年度実績)	次のような段階を踏んで実施した ・整備計画を立てる ・測量及び実施設計を行う ・工事区域の住民を対象に工事説明会を実施 ・管渠整備工事、マンホールポンプ工事、舗装本復旧工事等の発注及び監督																																														
④業務の実施結果(平成19年度実績)	工事区域の住民を対象とした工事説明会を6月間実施し、工事についての周知と理解を得ながら工事を完了することができた。																																														
	【業務結果の説明指標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度実績</th> <th>20年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>各年度整備面積 (ha)</td> <td>38.34</td> <td>37.40</td> <td>34.50</td> <td>31.20</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>整備面積累計 (ha)</td> <td>515.02</td> <td>552.42</td> <td>586.92</td> <td>618.12</td> <td>748.00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						結果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標	1	各年度整備面積 (ha)	38.34	37.40	34.50	31.20	—	2	整備面積累計 (ha)	515.02	552.42	586.92	618.12	748.00	3							4							5					
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標																																									
1	各年度整備面積 (ha)	38.34	37.40	34.50	31.20	—																																									
2	整備面積累計 (ha)	515.02	552.42	586.92	618.12	748.00																																									
3																																															
4																																															
5																																															
⑤業務の成果(業務目的の達成状況)(平成19年度実績)	計画的な整備と下水道利用の促進により、順調に下水使用料が増加し、健全な下水道運営に努めることができた。また、下水道の目的である川などの水質改善と快適な生活環境作りに貢献できた。																																														
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度実績</th> <th>20年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>下水道普及率 (%)</td> <td>68.9%</td> <td>74.4%</td> <td>78.6%</td> <td>82.0%</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>下水道水洗化率 (%)</td> <td>83.2%</td> <td>85.8%</td> <td>86.6%</td> <td>88.0%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標	1	下水道普及率 (%)	68.9%	74.4%	78.6%	82.0%	94%	2	下水道水洗化率 (%)	83.2%	85.8%	86.6%	88.0%	100%	3							4							5					
成果の説明指標		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標																																									
1	下水道普及率 (%)	68.9%	74.4%	78.6%	82.0%	94%																																									
2	下水道水洗化率 (%)	83.2%	85.8%	86.6%	88.0%	100%																																									
3																																															
4																																															
5																																															

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

道路が狭い旧市街地の整備に着手することになるため、特に隣接住民とのコミュニケーションが課題となる。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

工事を円滑に進めるために、地元住民との工事調整を綿密に行う。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4点
		平均 3.2点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"><li>前年度と同じく、そのまま継続する。</li><li>見直して継続（業務の拡大）</li><li>見直して継続（業務の縮小）</li><li>見直して継続（方法の改善）</li><li>見直して継続（他業務と統合）</li><li>廃止する。</li><li>休止する。</li></ol>
②評価理由	目標年次の平成27年度に向けて計画的に整備する必要があり継続する。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

道路が狭く、住民の工事協力が必要となるため、工事説明会等周知方法を改善し、事業の早期完成に務める。

**〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕**

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□1節□4項	下水道
担当課・係名	下水道課 工務係 【問合せ・質問等の先（内線番号） 332番】			

<b>業務の名称</b>	下水道関連調査業務																																														
(1)根拠法令・条例	下水道法																																														
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>30</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>133</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)																																														
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>0</u> 千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))																																														
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0.0</u> % (平成19年度実績)																																														
(5)業務期間	開始した年度	平成3年度	終了(予定)年度																																												
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)																																															
①業務目的(達成目標)	快適な生活環境をつくること																																														
②業務が対象とする住民(地域、層)	公共下水道計画区域(市街化区域及び周辺市街化調整区域)の住民																																														
③業務の具体的な実施内容・方法(平成19年度実績)	国及び愛知県から調査依頼がある ・過去及び現在の整備状況等の報告 ・将来の整備計画等の報告																																														
④業務の実施結果 (平成19年度実績)	公共下水道計画区域内の整備状況の実態把握。																																														
	【業務結果の説明指標】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度 実績</th> <th>20年度 目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>各年度整備面積 (ha)</td> <td>38.34</td> <td>37.40</td> <td>34.50</td> <td>31.20</td> <td>——</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>整備面積累計 (ha)</td> <td>515.02</td> <td>552.42</td> <td>586.92</td> <td>618.12</td> <td>748.00</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>下水道関連調査件数 (件)</td> <td>50</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>55</td> <td>——</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						結果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標	1	各年度整備面積 (ha)	38.34	37.40	34.50	31.20	——	2	整備面積累計 (ha)	515.02	552.42	586.92	618.12	748.00	3	下水道関連調査件数 (件)	50	52	52	55	——	4							5					
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標																																									
1	各年度整備面積 (ha)	38.34	37.40	34.50	31.20	——																																									
2	整備面積累計 (ha)	515.02	552.42	586.92	618.12	748.00																																									
3	下水道関連調査件数 (件)	50	52	52	55	——																																									
4																																															
5																																															
⑤業務の成果(業務目的の達成状況) (平成19年度実績)	計画的な公共下水道区域の拡大により、川などの水質改善と快適な生活環境作りに貢献できた。																																														
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度 実績</th> <th>20年度 目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>下水道普及率 (%)</td> <td>68.9%</td> <td>74.4%</td> <td>78.6%</td> <td>82.0%</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>下水道水洗化率 (%)</td> <td>83.2%</td> <td>85.8%</td> <td>86.6%</td> <td>88.0%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標	1	下水道普及率 (%)	68.9%	74.4%	78.6%	82.0%	94%	2	下水道水洗化率 (%)	83.2%	85.8%	86.6%	88.0%	100%	3							4							5					
成果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標																																									
1	下水道普及率 (%)	68.9%	74.4%	78.6%	82.0%	94%																																									
2	下水道水洗化率 (%)	83.2%	85.8%	86.6%	88.0%	100%																																									
3																																															
4																																															
5																																															

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

調査依頼から回答作成までの時間が短く、また、調査時期が集中するため人員配置が課題となる。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

過去に作成した書類が効率的に活用できるように整理している。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.0点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"><li>前年度と同じく、そのまま継続する。</li><li>見直して継続（業務の拡大）</li><li>見直して継続（業務の縮小）</li><li>見直して継続（方法の改善）</li><li>見直して継続（他業務と統合）</li><li>廃止する。</li><li>休止する。</li></ol>
②評価理由	下水道区域の拡大に基礎データを利用するため、継続作成する必要がある。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

今後の整備計画に役立つデータ作成努め、事業の早期完成に役立てる。